

『ヨーロッパ言語共通参照枠』と日本の英語教育

CEFR とは

「外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠」

Council of Europe.(2002).*Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment.*

学習者を「社会的存在」として考える行動中心主義の視点から言語熟達度を微細に分類し、能力記述により言語熟達度を測定しようとする「参照枠」は、個別言語にとらわれずすべての言語に応用することが可能であり、欧州評議会が提唱している「複言語主義 (plurilingualism)」の理念を具現化したもの。世界の外国語教育に影響を与え、日本でもこの数年、科研を中心に **CEFR** 研究が盛んになっており、導入を検討中の大学が増えている。

以下、日本における主要な **CEFR** 研究

1 慶応大学外国語教育センター

文科省「私立大学高度化推進事業」学術フロンティア「行動中心複言語学習プロジェクト」(2006～2010) 英語一貫教育と複言語能力育成

2 東京外国語大学

「小、中、高、大の一貫する英語コミュニケーション能力の到達基準の策定とその検証」文科省科研(2008～2011) 代表・投野由起夫
(**CEFR-J** 「CEFR 準拠の日本における参照枠を提案、学校教育を考え CEFR レベルを細分化、能力記述文と枠組みの妥当性を検証、中高大英語学習者 5 千名調査、英語教員 200 名による記述文並べ替え調査」)

3 京都大学

「新しい言語教育観に基づいた複数の外国語教育で利用できる共通言語教育枠の総合研究」(文科省科研 代表・西山教行)

国際研究集会

「大学における外国語教育の目的-『ヨーロッパ言語共通参照枠』から考える」

日程：2012年3月13日

場所：京都大学人間・環境学研究科地下講義室

開催趣旨

「日本の大学はこれまで外国語教育の発展に大きな貢献をもたらし、外国語教育は学問を育む力を支えてきた。ところが深化を続けるグローバル社会はこれまで以上に外国語に機能的・実用的価値を求め、英語あるいは中国語などを企業文化の道具に位置づけようとする。しかし言語は道具であると同時に、それだ

けではない。言語は人間の存立の根拠、アイデンティティでもある。

外国語教育の目的をこのような視点から深めていく上で、現在、ヨーロッパの言語教育を方向付けている『ヨーロッパ言語共通参照枠』は有益な指標を与えうる道具となる。

この研究集会では、『ヨーロッパ言語共通参照枠』を補助線として活用し、英語教育および、それ以外の外国語教育に区別して、大学における外国語教育の目的を追求したい。グローバル社会に生きる大学が、外国語教育にどのような指針を持ちうるかを考えたい。」

講演： ジャン＝クロード・ベアコ（パリ第3大学）

『ヨーロッパ言語共通参照枠』から考える言語教育の目的

指定討論者：細川英雄（早稲田大学）

司会：西山教行（京都大学）

シンポジウム1：『ヨーロッパ言語共通参照枠』から考える言語教育の目的

ピエール・マルチネス（ソウル国立大学）

藤原三枝子（甲南大学）

ミシェル・カントリエ（メヌ大学）

山崎直樹（関西大学）

指定討論者：森住 衛（桜美林大学），

司会：塚原信行（京都大学）

講演：鳥飼玖美子（立教大学）「日本の英語教育の目的は何か」

指定討論者：ジャン＝クロード・ベアコ（パリ第三大学）

シンポジウム2：『ヨーロッパ言語共通参照枠』から英語教育の目的を考える

高梨庸雄（弘前大学）

ジル・フォルロ（ピカルディ大学）

江利川春雄（和歌山大学）

バリー・ジョーンズ（ケンブリッジ大学）

指定討論者：大谷泰照（大阪大学），寺内 一（高千穂大学）

司会：大木 充（京都大学）

4 早稲田大学（教育総合学術院）

CEFR に合わせた6レベルの English tutorial

5 その他の大学における CEFR 研究及び導入準備

小中高大の英語一貫教育、動機付け、自律性、学習方略との関連、内容言語統合英語教育（CLIL）など。

成蹊大学、千葉商科大学、南山大学、東京外国語大学、上智大学（CLIL），
埼玉医科大学（CLIL）、津田塾大、金沢大学等々。

6 CEFRに関する研究会

JACET 教育問題研究会主催 日本独文学会ドイツ語教育部会共催 フランス語教育学会共催

日時：2012年3月10日9時より 場所：早稲田大学第11号館4階

ラウンドテーブル 「英語科教職課程学生のためのポートフォリオの効果的な使い方」 片桐一彦（専修大学），阿野幸一（文教大学） 高木亜希子（青山学院大学），遠藤雪枝（清泉女子大学）

シンポジウム 「教師の成長のためのスタンダードの策定に向けて」 向後秀明（文科省），下山田芳子（茨城県教育委員会），醍醐路子（駒込中学校校長），川村光一（幸手市立東中学校），久村研（田園調布学園大学），清田洋一（明星大学）

講演 「異文化理解教育と複言語・複文化主義」 細川英雄（早稲田大学）

講演 「外国語の学習，教授，評価のためのヨーロッパ共通参照枠の発展と言語教育と学習における活用」 Barry Jones（ケンブリッジ大学）

シンポジウム 「CEFRを基にした異文化理解教育」

神保尚武（早稲田大学：英語教育），砂岡和子（早稲田大学：中国語教育），Alexander Imig（中京大学：独語教育），明石伸子（早稲田大学：仏語教育） コメンテーター：吉島茂（聖徳大学），司会 酒井志延（千葉商科大学）

7 その他

*国際交流基金 日本語用「JF日本語教育スタンダード」

*文科省（2011年7月）「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/07/_icsFiles/afieldfile/2011/07/26/1308888_

CEFR 準拠の can-do リストを国、自治体、学校レベルで作成するよう提言

*CEFR-J 日本版 CEFR 2012年4月公開予定

*NHK「語学番組グランドデザイン」2012年4月より全英語番組をCEFRによりレベル分け

<参考文献>

大谷泰照（編）（2010）『EUの言語教育政策：日本の外国語教育への示唆』（くろしお出版）

細川英雄、西山教行編（2010）『複言語・複文化主義とは何か：ヨーロッパの理念・状況から日本における受容・文脈化へ』（くろしお出版）

吉島茂他訳（2004）『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』Council of Europe. 朝日出版

2012. 1. 30 鳥飼玖美子